

第134号

こんにちは

# みささ議会です

令和5(2023)年

7月号

## 主な内容

- 6月定例会・一般会計補正予算…………… 2
- 常任委員会で慎重審査 …………… 3～4
- 議会懇談会 …………… 5
- 議員6人が一般質問 ……………6～12
- 議案の賛否 …………… 13
- 大好きみささ町 …………… 14

魚つかみ  
(みささ村イベント)

# 6月 定例会

## 一般会計補正

(6,428万円を追加し、予算の総額は  
66億9,388万9千円になりました。)

6月定例会（6月7日～15日）は、町長から提出された議案など、12議案を審議し、原案どおり可決及び同意しました。主な補正予算の概要は次のとおりです。

### 主なもの

- ◇三朝町LED防犯灯維持管理支援補助事業 **700万円**  
1集落あたり上限15万円で補助率10/10
- ◇林道防災対策事業 **650万円**  
林道天谷線の災害（路肩崩落）復旧工事を実施
- ◇プレミアム商品券発行事業（価格高騰重点支援対策） **1,000万円**  
プレミアム率25%の商品券を発行する商工会事業を支援
- ◇三朝温泉誘客キャンペーン事業（価格高騰重点支援対策） **2,300万円**  
オンラインを使った宿泊クーポン事業による中小旅館誘客支援
- ◇消防施設一般管理経費・防災基盤整備事業（消防施設） **1,526万8千円**  
西谷班の消防車庫屋根修繕と今泉地区における消火栓新設
- ◇学校給食費負担軽減事業 **139万円**  
物価高騰に伴い増額した給食費の上昇金額分を支援

### 三朝町保育所の設置及び管理に関する条例の一部改正



竹田保育園

令和2年度以降、急激に町内出生数は減少し、今後も低位で推移する見込みであることや町内の園利用者数の状況を鑑み、竹田保育園の保護者や竹田地域協議会と意見交換を行い、令和6年3月31日をもって閉園する方針を示しました。

これに伴い、6月定例会においては、保育園閉園に伴う条例の一部改正を可決しました。

#### 農業委員会委員の任命

農業委員会委員の改選に伴い、委員7名の任命について同意しました。任期は令和5年7月20日～令和8年7月19日までの3年間となります。

# 常任委員会で慎重審査

委員会における主な質疑

## 総務教育常任委員会

### LED防犯灯設置事業補助金について

**問** 各集落が既に設置しているLED防犯灯が壊れた場合、多くの費用が発生する状況もある。新設に限らず、更新についても補助の対象になるのか。

**答** 「三朝町LED防犯灯維持管理支援補助事業」として、1基あたり新設は5万円、更新は3万円の補助金を設定しており、LED防犯灯の経年劣化による更新も対象としている。

### いじめ問題について

**問** 今年の1月に報告のあったいじめ問題は、どう解決に向かっているのか。経過報告を説明してほしい。

**答** 令和4年度に3月からいじめ問題調査委員会を立ち上げてから2回、令和5年度は4月、5月と、計4回委員会を開催した。7月には最後の委員会を開き、報告書をまとめる予定にしている。公表については、委員会から報告・提言を受け、個人情報を含む内容なので、どの程度まで公表できるのか等を検討した上で、行うことにしたいと考えている。

### 三朝町消防団について

**問** 消防の操法大会の開催は、以前は8月の盆明けに決まっていた。昨年も今年も日にちが変わっているのはなぜか。

**答** 昨年は5月に開催したが、農繁期は避けようということになった。昨年実施したアンケートの結果や郡大会に出場する班等の意見を勘案して、今年は4月開催とした。



町操法大会

**問** 消防団分団による不適切会計という内容で新聞に掲載されていた。以前の報告後に事情聴取がなされたかどうかの経過報告がない。特にコロナ禍で飲食がなされていないはずの直近の3年間の会計を調査し、報告すべきである。

**答** 1月5日付の経過報告で今後の対応について報告しているとおり、地区団の三役を中心に団員に聞き取りを行って、大部分が判明すると思う。引き続き地区団三役でアプローチをしていただくよう指導、助言を行っていく。

### 学校給食費負担軽減事業について

**問** 令和5年3月の説明では、子育てに係るその他の活動に予算を使い、給食費については、保護者負担でもらうため、町が給食費補助は絶対にしないという話だったが、なぜこの短期間に方針が変わったのか。

**答** 令和5年度から給食費の値上げを行っているが、令和5年3月にもご意見等を伺っているということもあり、交付金等の財源が見つかったため、値上げ分の支援をしたいというもの。

**問** 以前の委員会での説明から方針が変わったのであれば、予算を出す前にきちんと説明するべきではないか。今までの協議は何だったのか。

**答** 事前に協議等をかければ良かったかもしれないが、保護者・子どもたちの支援のために何とかご理解をお願いしたい。



学校給食

## 産業民生常任委員会

### 農業委員会委員の任命について

**問** 委員の要件に農家というよう  
な規定があるのか。また、農  
地利用最適化推進委員の選任  
方法はどうなっているのか。

**答** 要件の一つとして農業に関す  
る識見を有している方と規定  
してあるが、必ずしも農家で  
ある必要はない。また、推進  
委員は農業委員会で委嘱する  
ことになっており、7月20日  
予定の農業委員会総会におい  
て委嘱される予定。

### 竹田保育園の廃止につ いて

**問** 令和5年度末で竹田保育園は  
廃止ということだが、保護者  
や地元への説明は十分に尽く  
したという理解でよいか。

**答** 3月議会全員協議会において  
廃止の方針を議会に説明した  
後、保護者や地域の皆さんに  
は説明をしてきた。不安を感じ  
ておられる保護者等には引き  
続き、聞き取りなどしながら  
丁寧に対応していきたい。



竹田保育園

### たまわりの湯の閉鎖後の 対策は

**問** たまわりの湯が閉鎖されて  
困っているという声を町民か  
ら聞かが町として何か対応策  
を考えていないのか。

**答** 現在、レスポワール・ブラン  
ナールみささ・深泉閣等で対  
応できないか、入浴時間や入  
浴料金について調整している  
ところである。できるだけス  
ピード感をもって対応してい  
きたい。



閉鎖された「たまわりの湯」

### プレミアム商品券発行事 業

**問** プレミアム商品券の発行事業  
で1千万円計上されている  
が、内訳はどんな内容なのか。

**答** プレミアム率を25%に設定  
した金額と事務費等を合わせ  
たものを予算計上している。

### 公衆浴場応援事業につ いて

**問** 具体的にどの施設にどんな内  
容を応援するというのか。

**答** 株湯に対して支援しようとする  
もので、価格が高騰してい  
る光熱水費や清掃経費などへ  
の支援が主なものになると考  
えている。

### 上水道事業基本計画につ いて

**問** 粟谷配水池（横手地内）の廃  
止理由と新配水池の予定場所  
は。

**答** 耐用年数が近づいていること  
や耐震化されていない等の理  
由により、令和5年度から令  
和9年度にかけて陸上競技場  
上手の真砂土採取現場付近  
（本泉地内）に新配水池整備  
を計画している。

### 温泉を活用した健康まちづ くり事業基本構想につ いて

**問** 構想の中には三朝温泉病院と  
の連携はうたっているのか。

**答** 医療機関等との連携は重要と  
の認識で掲載している。

**問** 構想の中心になる健康増進機  
能と入浴機能を併せ持つ施設  
の整備は今後どのように進め  
ていくのか。

**答** 令和5年度中にコンサルティ  
ングを入れて基本計画を策定  
し、具体的な施設計画を示し  
たい。健康づくりプログラム  
等のソフト内容と併せて令和  
7年度の整備を目標に進めて  
いく予定。



三朝温泉の風景

# 令和5年度 第1回 議会懇談会

今回は4地域協議会において、議会懇談会を開催しました。地域に出向き、令和5年度の予算審査の報告や質疑応答、各地域協議会から提出いただいたテーマでの意見交換を行いました。懇談会の中で出た意見等の一部を紹介させていただきます。



小鹿地域協議会での様子

## 町への質疑・意見

### 神倉大豆の振興を

- 住民** 神倉大豆の振興を進めてほしい。
- 議会** 役場だけでなく、関係機関と連携し頑張っていくと町は言っていた。開発プロジェクトを進めていくよう議会からも呼びかけていきたい。

### 地域の行事への支援を

- 住民** コロナにより各集落の事業は中止されていた。地域を盛り上げる行事に活用しやすい補助金などのアイデアはないのか。
- 議会** 手を挙げる地域があれば、町も支援をしてくると思う。

### 移住定住への取り組みとして

- 住民** 移住定住には、三朝の魅力を発信することが重要。空き家対策も町外から来てもらうことになると思うが、魅力がないと人は来ない。空き家をリフォームし、ホームページなどで案内しては。
- 議会** 現在空き家バンクは、賃貸よりも売却希望となっている。
- お試し住宅は他町にはあるが本町にはないので、移住前に町内の生活を体験するための住宅を整備するよう町へ要望している。
- 地域おこし協力隊が専任として現在活躍中なので、もう少し様子を見てほしい。

### 株湯等への対応策は

- 住民** 株湯とたまわりの湯が同時期に使えないのは困る。対応策を早急に進めてほしい。
- 議会** レスポワールの時間延長と代替施設の検討についての要望が、多くの町民から出ている。議会からも意見があったことは町に伝えておく。

### 旧校舎の活用方法として

- 住民** サッカー等で使いたい子どもたちに旧小学校を開放できないのか。
- 議会** 旧小学校の活用についての明確な答えは出していない。町は10年のうちに決着をつけることにしている。

## 議会への質疑・意見

### 予算・決算審査の方法とは

- 住民** 予算審査では前年度からの指摘事項をどう改善したか審査するのも重要だと思うが、議会の意見は反映されているのか。
- 議会** 予算等は執行状況をチェックし、町に伝えているので意見は反映されていると認識している。

### 一般質問後の対応は

- 住民** 一般質問で町長が検討するといった答弁に対して、その後どうなったかを確認しているのか。
- 議会** 担当課に進捗を確認したり、再度同じテーマで質問を行うなど、検討状況の把握に努めている。

地域	開催日	参加人数
小 鹿	令和5年5月12日(金)	13人
賀 茂	令和5年5月26日(金)	17人
み さ さ 村	令和5年5月31日(水)	17人
竹 田	令和5年6月8日(木)	13人

# 一般質問

一般質問は、議員の日常活動と調査研究、住民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。

# あなたの声を 町政に

6人の議員が一般質問をおこないました。

三朝町は、執行部答弁を除き1人20分以内の制限  
時間内であれば、質問の回数に制限はありません。

議会だよりでは、スペースの都合上、質問と答弁が要約してありますので、  
臨場感ある本会議場での傍聴をお待ちしております。

ページ	質問事項	質問議員
7	1 人口減少を前提とした地方創生も	石田 恭二
8	1 地域が廃れる	藤井 克孝
9	1 NHK朝の連続テレビ小説の観光・経済効果について 2 LGBT法案と女子トイレや女湯の安心安全はどうか	森 貴美子
10	1 三朝町のふるさと応援寄附金について	山口 博
11	1 旧小学校施設の利用計画について 2 梅雨時の大雨の備えを万全に	松原 成利
12	1 草刈り作業の省略化	吉村美穂子

※ケーブルテレビでは、一般質問後の最初の日曜日に、録画放送を行っています。  
(10:00～、18:00～)

## 問 人口減少を前提とした地方創生を

答 元気な町づくりに取り組む人材の育成・確保を推進

### 人口減少問題の政策課題は

石田

人口の自然減・社会減に対応する、移住定住・少子高齢化問題が町の重点課題として実施されているが、町の現在の取組状況をどのようにみているか。

町長

移住者数の増加で成果は見えるが、自然減の波に飲み込まれてしまい、人口減少対策の全体としての成果が見えにくいと感じる。

### 人口減少と共生した町づくり

石田

既存住民の健康・福祉・転出抑制に重点を置くべきでは。

町長

第11次三朝町総合計画の中で、人口減少対策に向けては町民と行政が連携をして取組を推進するというにしている。「笑顔と元気があふれ輝く町」を将来像に掲げた事からも方向性は間違っていないと感じている。



平成31年3月 第11次三朝町

第11次三朝町総合計画

### 移住定住事業に制限は

石田

移住定住事業の補助等に年齢制限・所得制限はあるのか。

町長

支援の種類によって年齢制限等を設けている。主に国の施策による事業は所得制限がある。

### 活動人口を増やすには

石田

今後、活動人口を増やすには、地域協議会の果たす役割が大きいと思うが。

町長

各地域協議会に合った形の見直し、体制や組織づくりを検討していただいている。まもなく新たな方向がそれぞれの地域協議会で示される予定である。

### 子育て・若者世代の支援

石田

子育て世代の多様な生活への対応として保育園の休日保育をしたり、修学旅行等の費用の助成を行い、保護者の負担緩和をすることが必要では。

町長

若い人のご意見を頂戴しながら、町としてどのような関わりができるかを考えていく。休日保育は町単独ではなく中部圏域の中での言う事になると思う。物事の行動や考え方の価値観は変化し続けている。様々な人の話を聞きながら考えてみたい。



石田 恭二 議員



保育園で遊ぶ子どもたち

### 町営住宅等の払下げ

石田

町に定住してもらう事を前提とすれば、町営住宅の払下げに対して減額措置等が必要では。

町長

町営住宅によっては国の補助金を導入して建設した経過がある。その基準をクリアしながら将来的に払下げをしていく事を推進する考えで検討していきたい。

## 問 廃れた町にならないために

答 新しい視点でまちづくりに挑んでいく

### 地域からサービス業の撤退について

藤井

利用者の減少により、小売・飲食店等の生活関連サービスが撤退すると、生活必需品等の入手が困難になるなど日々の生活が不便になる。こういったことは、更なる人口減少を招きかねないと思うが。

町長

人口減少社会が現実味を帯びてきた中、本町ではその深刻さが増してきていると感じている。買い物困難な地域の方を対象に地域協議会とも連携し、実態把握の準備を進め、個別に相談しながら解決につなげていきたい。

藤井

運転できない高齢者等の移動手段として、地域公共交通の維持が重要となるのでは。

町長

安心して暮らすためには、公共交通機関等の維持・充実が必要になる。公共性の高いサービスは、行政が積極的に支援し、持続可能な地域社会の実現へ向けた取組がされているところである。

### 空き店舗、耕作放棄地について

藤井

地域経済、産業活動の縮小や後継者不足等によって、空き店舗、耕作放棄地が増加。それとともに地域の活力低下につながっているように感じるが。

町長

空き店舗の活用については、町商工会が中心となり相談対応を行っている。町でも創業支援の補助金、空き店舗を活用できるような事業を創設しながら積極的に支援をしている。

耕作放棄地については、中山間直接支払い制度の効果的な運用を検証しながら、改めて活用方策、組立てを考えていく。併せて、その中で耕作放棄地対策を推進していきたい。

### 消防団員の減少について

藤井

地域住民によって構成される消防団員の減少は、地域の防災力を低下させる懸念があるが。

町長

令和6年から消防団の将来を見据えた組織再編を目指し、分団の再編や班の統合、本部員数の段階的な見直し、新たな機動班の設置などを検討。また、今年度から報酬等の処遇改善も行う。引き続き消防団員の確保につなげていきたい。



竹田相談プラザ



楽市楽座



藤井 克孝 議員

### 歴史や伝統文化の継承について

藤井

若年層の減少は、地域の歴史や伝統文化の継承を困難にする。地域活動が縮小すると、交流の機会が減少し、地域のにぎわいや地域への愛着が失われるのではないかと。

町長

本町でも民俗文化や伝統芸能など担い手不足の深刻化については認識している。地域の若年層等に地域の伝統行事へ参加してもらい、次世代への伝統文化の保存・伝承の取組がされているところである。関係者と連携し、伝承活動の支援をしていきたい。



## 観光

## 問 NHK朝ドラ誘致を観光・経済・町おこしにつなげては

答 地元で評価され盛り上げていく事が肝要

## NHK朝ドラの観光・経済効果について

森

「ゲゲゲの女房」が放送され、水木しげるロードの観光客数は過去最高372万人の中四国地方最多観光客入り込み数を記録した。朝ドラの経済効果をどう考えるか。

町長

朝ドラの平均視聴率は15%と国民の多くが視聴。放送開始から終了後も一定の経済効果が生まれ地域の活性化につながっている。

森

湯梨浜町在住の歌手西村光司先生は、昨年10月に自伝エッセイを出版され、「ドラマになったら面白い」との声が寄せられている。三徳山の歌「千年のいのり」は西村先生の作品で三朝町との関わりもある。民間と上手く連携を取りながら、朝ドラ誘致に取り組んでみては。

町長

まずは、地元の町で評価され、地域が盛り上がるのが肝要。大河ドラマを始めとした番組の誘致活動は全国でも多数取り組まれている。民間と行政が連携をして観光経済効果に結びつけることは重要。



森 貴美子 議員



西村先生の自伝エッセイ

町長

子どもたちの件にしても、LGBT法案が国民の共通した合意の方向に繋がることを期待している。

## LGBTの多様性一括りにまとめられるのか

森

東京での性自認の法制化に反対する当事者団体の記者会見で「法案反対の議論が出来なかった事が苦しかった」と言われた。両者の意見をきちんと吸い上げることが大切だと思うが。

町長

鳥取県でも当事者参加の独自の研究会を立ち上げた。知事も「非常に重要」と考えておられる。鳥取県独自の推進を期待している。

## 生活

## 問 LGBT法案と女子トイレや女湯の安心安全は

答 安心して利用できる体制作りを進める

## トランス女性を偽った事件について

森

欧米では、トランス女性と偽って女性用スパに男性が侵入したり、女子トイレで待ち伏せする事件が起き、三朝町や静岡県のお金湯でも同様の事件が発生している。私もホテルの女湯に入浴していた時、男性に脱衣所まで侵入された恐ろしい経験がある。このような事件が起きてしまうと、三朝温泉の観光客が激減するのでは。

町長

LGBT法案に拘らず、女性や子ども達に安心して三朝温泉を利用していただくことは大変重要。法案が成立した段階で対応が必要であれば検討していく。

森

欧米では、思春期に性的不和を訴えた女の子が性転換手術後に後悔したケースがある。影響を受けやすい子どもたちの為にも慎重に扱う必要があると思うが。

## 問 もっと多くのふるさと応援寄附金を期待

答 過去最高の1億5,500万円の目標を設定

### なぜ三朝町のふるさと応援寄附金は少ないのか

山口

三朝町のふるさと応援寄附金が少なかった理由をどの様に見ているのか。

町長

三朝町の返礼品は旅館利用券が主力となっており、件数で40%、金額で70%を占めている。旅館利用券に頼りすぎて新型コロナの影響を受けやすかったこと、地域特産品等の返礼品導入が遅れたことなどが伸び悩んだ要因と思う。

### 寄附額を増やすためには実績ある自治体の方法を参考にせよ

山口

ふるさと応援寄附金の実績がある自治体の方法を参考にすることが必要だ。

町長

高い実績のある日野郡江府町はミネラルウォーター等生活必需品が返礼品の主力と聞いている。コロナ禍の影響もあり全国的に見ると最近はそのような傾向が強いと聞いている。また利用しやすい多様な金額設定で選択の幅を広げる努力が必要と考えている。



ふるさと納税パンフレット

### 返礼品のSNS表示の差別化が必要だ

山口

インターネットの本町の返礼品を見たとき、地味な印象が拭えない。表示方法の工夫などで他との差別化が必要だ。

町長

インターネットを通じての情報発信の仕方の工夫が足りなかったと反省している。

### ふるさと応援寄附金自動販売機で何を売るのか

山口

今年度新たにふるさと応援寄附金自動販売機を導入することとしているが何を売ることになるのか。自販機の初期費用は。

観光交流課長

現在のところ旅館利用券を中心に、地産品もメニューに考えている。初期費用としては、自動販売機は5年間リースで年150万円のリース料と考えている。

町長

自動販売機の導入は、三朝温泉を訪れた方がその場で納税いただき、その日から利用が可能となるもので、この仕組みで効果を期待している。



山口 博 議員

### 企業版ふるさと応援寄附金では町長のトップセールスが必要だ

山口

他市町での企業版ふるさと応援寄附金の例を聞くが、本町でも獲得するには、町長自らのトップセールスが必要ではないか。

町長

企業版ふるさと応援寄附金は重視して取り組んでいきたいと思う。先般も上京の折には企業訪問しており、新年度に入ってから既に2業者さんから申し入れを受けている。

### 1億5,500万円の目標達成にどの様に取り組むのか

山口

1億5,500万円の目標額をどの様に達成しようと考えているのか。

町長

新しい方法など取り入れながら努力すれば実現できると思っている。インターネット利用の寄附金については、県内自治体の取り組み等を参考にしながら、専門的知見を持つ中間業者の仕組みを取り入れ、プロの視点で魅力的な表示方法の導入や返礼品の充実を図って、寄附金増額に取り組んでいきたい。

## 環境

## 問 旧小学校施設の利用計画について

答 まずは有効活用に向け取組を進める

## 旧小学校施設が未利用の状況だが

## 松原

三朝小学校が開校し満4年。旧施設利用は三朝小学校跡地施設等利用検討委員会の提言に基づき「一括売却による民間企業の活用」を基本とし10年目途にとのことだった。コロナ禍での状況はどうか。

## 町長

コロナウイルス感染症の影響で相談も減った。終息後の公募が妥当と考えている。町ホームページの掲載や文部科学省の催しにも参加し紹介は続けている。

## 部分利用も柔軟に検討すべきでは

## 松原

一括売却は理想だが部分利用も柔軟に検討し、事務所やアトリエ、作業場等の多面的な入居を進めて地域活性化の拠点にしては。

## 町長

製造業、アトリエ、教育関係等、実際に視察企業や問合せが11件あったが熱の入った相談に至らなかった。一部利用の希望も強く、対応の必要性は感じている。

## 松原

修繕や光熱水費等の高額な費用が必要で、家賃との兼ね合いがあることは理解できるが期待は大きい。

## 町長

部分使用には電気配線や仕切りの改修も必要。ランチルームと教室、体育館を区切るような方法もある。

## 広報活動の民間事業者委託は

## 松原

募集広報活動は民間事業者に委託等も積極的に展開するべきでは。

## 町長

ふるさと納税と同様にインターネットだけに頼らず幅広く発信に心がけたい。



松原 成利 議員

## 解体有りきではなく別途判断を

## 松原

目途としている10年後に「利用者がなければ解体有りき」ではなく、施設状態をみて対応するべきでは。

## 町長

配管等の見えない老朽化の可能性や、地域のお子さんへの不安も聞いており、状態や情勢によるが目安の10年区切りは貸し出しが妥当か判断時期だと思う。



旧東小学校施設

## 生活

## 問 梅雨時の大雨の備えを万全に

答 早め早めの避難情報発出に心がける

## 安全最優先に避難情報周知を

## 松原

令和3年7月豪雨では崖崩れ、土石流をはじめ、役場や文化ホールでは駐車場水没、農地や水路等の被害も甚大だった。予測はできないがしっかり準備しておくべき。

## 町長

自らの命は自らが守る意識を持ち、行政は全力で支援するとの豪

雨災害を踏まえた避難の在り方が国から公表され、人の安全を最優先に防災研修や支え愛マップ作成支援等行っている。早期に避難開始できるよう早め早めの情報発出に心がける。

## 安全点検や備蓄品等の確認を

## 松原

備蓄品や避難所の確認、災害

発生が予想される危険個所の把握と点検、役場の電源確保も重要。

## 総務課参事

大瀬下側での排水ポンプ車設置確認を行った。各避難所への備蓄品分散で自立活用の計画としている。

## 総務課長

今年度予算で電源移設工事費が認められ、これから取り組む予定。

## 問 草刈り作業省力化にカバー プランツはどうか

答 本町の農業形態における課題で、検討していきたい

### 草刈り作業省力化について 町長の考えは

#### 吉村

共同作業の拡大など新しい体制づくりで解決できないものか。

#### 町長

スマート農業が進歩する中、水田の現状に適した機械導入を考え、集落協定の中で、作業省力化についての取り組みが良いと思う。

### 冬芝やセンチピードグラスなどの カバープランツの活用はどうか

#### 吉村

農村の美観を損ねない芝で、畦畔を被覆し、植生転換する方法はどうか。環境や生態系に優しく、経年変化に対応する補修が容易である。このことで草刈りが年1回から2回で済むので楽になる。以前、県のモデル補助事業の募集があったが、町民に情報は流したのか。

#### 町長

県の事業として情報を流したかはわからないが、実証実験として実施したことがある。センチピードグラスは定着するまでに草を抜いたり、維持管理などの労力も必要となるため、補助事業終了とともに集落での取り組みは終了された。色んな要因で普及するまでに至らなかった。

### カバープランツの情報を提供し 実証実験をしてはどうか

#### 吉村

智頭町東宇塚は、センチピードグラスの被覆で成功している。業者が活着するまで面倒を見てくれるので、活着率100%とのこと。3年管理すれば、20年から25年は、年5回から6回の草刈りが、1回から2回で済む。今後、高齢化していく農家の将来を見据え、カバープランツの実証実験の研修をしてみてもどうか。多面的機能支払い交付金や中山間地等直接支払い交付金などを活用すればできると思う。

#### 町長

集落で取り組んでみたい、成功事例を勉強したいという希望があれば、町としても情報提供をしていきたい。



吉村美穂子 議員

### 本町の田園風景を守ることは 観光にもつながる

#### 吉村

非農家の方にも協力をお願いし、観光客が訪れる国道179号線から三徳山への道路沿いの畦畔からでもカバープランツを実施してみてもどうか。整備された田園風景を守ることは、自然環境と農地保全のためにもなる。

#### 町長

町の水田景観を保全していくことは、観光の町としても大事である。それぞれの集落営農の取り組みに期待していきたい。集落協定での位置付けにカバープランツの活用も取り組んでいきたい。



法面の草刈り



カバープランツの定着

## 【議案に対する賛否】

議案番号	議案名	議員名（議席順）											結果	
		森貴美子	小椋泰志	河村明浩	吉村美穂子	松原成利	松原茂隆	能見貞明	石田恭二	山口博	藤井克孝	遠藤勝太郎		吉田道明
(4月臨時会)														
町長提出議案名														
34	専決処分の承認について（三朝町税条例の一部改正）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
35	専決処分の承認について（三朝町国民健康保険税条例の一部改正）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
36	専決処分の承認について（令和4年度三朝町一般会計補正予算（第9号））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
37	専決処分の承認について（令和5年度三朝町一般会計補正予算（第1号））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
38	令和5年度三朝町一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
39	事務負契約の締結についての議決の一部変更について（三朝町立三朝小学校新築工事（プール棟））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議員提出議案名														
議4	三朝町議会委員会条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
(6月定例会)														
町長提出議案名														
40	令和5年度三朝町一般会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
41	令和5年度三朝町下水道事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
42	令和5年度三朝町水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
43	三朝町教育職員の給与の特例に関する条例の設定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
44	三朝町保育所の設置及び管理に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
45 ～ 51	農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議員提出議案名														
議5	森林環境譲与税の譲与基準の見直しを求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議6	保育所等保育施設の職員配置基準改善を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議7	地方財政の充実・強化を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

※○は議案に対する賛成、●は反対等であることを意味しています。  
 ※吉田道明議長を除く11名の賛否状況です。

## 【陳情】6月定例会の陳情に対する審査結果です。

件名	提出者	審査結果	審査意見
森林環境譲与税の譲与基準の見直しに関する陳情	鳥取県中部森林組合	採択 意見書提出	森林環境譲与税が、健全な森林保全を行う自治体へ手厚い配分となるよう実情に沿った譲与基準の見直しを行うべき。
国に対し、適格請求書等保存方式（インボイス制度）の延期・見直しを求める陳情書	インボイス制度を考えるフリーランスの会	趣旨採択	消費税の2重払い解消や税の控除等に繋がる有益な制度であり、実施すべき。中小企業・小規模事業者の負担軽減、支援制度についての検討も必要。
地方財政の充実・強化を求める陳情	自治労鳥取県本部 三朝町職員労働組合	採択 意見書提出	地方公共サービスを担う人材は不足する中、多岐に渡る対応が求められている。持続可能な地域社会の発展のためにも地方財政の充実・強化が必要。
保育所等保育施設の職員配置基準改善を求める陳情	自治労鳥取県本部 三朝町職員労働組合	採択 意見書提出	園児の安心安全と保育士不足を考えると、早急に保育施設の職員配置基準の見直し、職員の処遇改善を行う必要がある。
ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための2024年度政府予算に係る意見書採択の陳情について	鳥取県高等学校 教職員組合中部支部 鳥取県教職員組合中部支部	趣旨採択	各県レベルで少人数学級への支援措置が充実され、中学校の部活動改革とともに教職員の業務量の改善も検討が進められている状況にある。

## トライワークみささを通して

僕は、5月に「本田モータース」で行った4日間の職業体験学習（トライワークみささ）を振り返り、その中で経験したことや学んだことをお伝えします。

まず一つ目です。それは事業所のみなさんが優しく接してくださったことです。やはり最初は「自分ひとりでも大丈夫だろうか」と不安な気持ちが大きかったですが、事業所の方が優しく丁寧に仕事内容を教えてくださったおかげで、徐々に不安な気持ちがやわらいでいきました。あらためて、人に優しくされることのありがたみを感じました。

二つ目は、あいさつの大切さを学んだことです。あいさつは相手の方とのコミュニケーションのき

かけだけでなく、相手の方からの印象がよくなることも分かりました。あいさつのおかげで、担当の方ともコミュニケーションがうまくとれるようになっていきました。

僕は、中学生ひとりだけで働いた貴重な経験は、絶対にこの先の生活に役立つし、将来働くときの糧になると思っています。まずは、初対面の人にも必ずあいさつをしたり、何事にもチャレンジしたりすることで、この経験を活かしていきたいです。



三朝中学校2年  
山口 祐生

## 議会・委員会を傍聴しませんか

議会の審議はみなさんに公開しています。本会議、委員会等での審議がどのように進められているのか、直接ご覧になってみませんか。

どなたでも傍聴できますので、お気軽に役場2階へお越しください。

※常任委員会・全員協議会の傍聴には委員長・議長の許可が必要です。詳しくは議会事務局（電話43-3511）にお問い合わせください。

## 9月定例会の日程予定（案）

会期 9月7日～9月20日  
（14日間）

※日程は変更になる場合があります。  
※近づきましたら、防災無線、町ホームページでもお知らせします。

## ～町のホームページに、議会情報を掲載しています～

- 町ホームページから **三朝町議会** のページをご覧ください。

町ホームページアドレス <http://www.town.misasa.tottori.jp>

- 町議会のしくみや議会日程、議員紹介など、さまざまな情報を掲載しています。
- 議会だよりのバックナンバーも閲覧することができます。

発行責任者 吉田 道明  
議長 吉田 道明  
編集 吉田 道明  
議会広報常任委員会  
委員長 小椋 泰志  
副委員長 森 貴美子  
委員 松原 茂隆  
委員 吉村 美穂子  
委員 河村 明浩

（吉村 美穂子 記）  
水と空気が美しい三朝。今年も豊作でありますように。  
農耕民族だった日本人は、大自然の前には無力である事を知り、安全を祈り、収穫を神に感謝してきた。水の確保や収穫も、お隣り同士が協力し、助け合う事で、おのずと人を気遣う心が根付いていったのだと思う。  
稲が成長し、田んぼが美しい。嫁いで来た時、田植え後の「しろみてをする」の意味が解らず、田んぼを見ながら皆でご馳走を食べる慰労会だと思っていた。本来、「しろみて」とは、田（代）が満つる。田植えが終了した事を田の神に報告して共に祝う行事で、「しろ」は田植え、「みて」は終了の意味。無事に田植えが済んだ事をお祝いし、豊作を祈る。

